



1 終始笑いが絶えなかった会場 2 高座の幕開けを飾った桂三河さん 3 豊かな身振りで魅せた桂きん太郎さん

上方落語ならではの小道具

- ▶ 見台(けんたい) 落語家の前に置く小さな机
- ▶ 膝隠(ひざかくし) 落語家の膝を隠すための小さなついたて
- ▶ 小拍子(こびょうし) 見台を打って音を鳴らす道具

くずまゝる寄席は11月9日、まさき×まさきホールで開催され、町内外から約130人が来場しました。 觸澤義美副町長は開演に先立ち「次の時代の幕を開ける記念すべき年に開催でき、うれしく思う。落語の魅力を存分に味わってほしい」とあいさつしました。

まさき×まさきホールは、一気に寄席の雰囲気。桂小文枝さんをはじめ3人の落語家が登場し、巧みな話術と生き生きとした身振りで、観客を笑いの世界に引き込みました。

くずまゝる寄席



巧みな話術で観客を魅了した 四代桂小文枝さん

こどもフェスタ



認定こども園葛巻保育園が主催する「こどもフェスタ」は11月2日、くずまゝるを会場に開催され、約90人の子どもたちとその保護者が来場しました。 会場は工作や木工体験ができるワークショップ、親子クッキング、親子リトミック、昔あそびなど、子どもはもちろん親子で楽しめる企画が盛りだくさん。子どもたちはさまざまな体験に胸を弾ませ、保護者らはその成長を見守りながら、笑顔を見交わしていました。 親子リトミックは0から2歳、3から5歳児に分け、年齢に合わせたリズム遊びを実施。参加した親子は一緒に音の出るおもちゃを作ったり、ピアノの音に合わせて走ったり跳ねたりして、自然と笑みがこぼれていました。昔あそびでは、お手玉や新聞紙を使った遊びなどを体験。子どもたちは新聞紙で作った紙鉄砲を手に夢中になって音を鳴らしていました。 3人の子どもと訪れた東山崎さん夫婦は「体を動かしたり、工作をしたり、それぞれの年齢の子どもが楽しめた。まさき×まさきホールや子育てサロン、調理室などくずまゝるの機能も知ることができた」と子どもたちと微笑み合いました。



1 ワークショップを楽しむ親子 2 作品の出来に満足げな子ども 3 スコーン作りに挑戦 4 音の出るおもちゃを作る親子 5 紙鉄砲に挑戦する子ども 6 葛巻高生らもスタッフとして参加



1 2 多様なジャンルの曲を演奏した北部航空音楽隊の皆さん 3 指揮者の豊浦裕基隊長



大きな拍手と歓声が送られたアンコール

航空自衛隊北部航空音楽隊演奏会 in くずまきは11月16日、葛巻小学校体育館を会場に開催され、約160人が来場しました。 鈴木重男町長は主催者を代表し「安心して暮らせる国を支える自衛隊の活動に敬意を表しながら、本格的な生演奏を楽しんでもらいたい」とあいさつ。演奏への期待感を高めました。 演奏会は力強い行進曲で幕開け。

会場内は豊かな響きに包まれました。その後も日本の民謡や聴きなじみのあるディズニの曲、ポップスまで幅広いジャンルの曲が演奏され、来場者は手拍子をするなど、臨場感ある音色に魅了されました。アンコールを含めた全9曲を聴いた来場者からは「聴きななじみのある曲が多く楽しかった」「音楽に親しみを持った」と自然と笑みがこぼれていました。

航空自衛隊 北部航空音楽隊演奏会 in くずまき

辰巳琢郎さんとともに 2025年新酒・無ろ過を楽しむ夕べ



辰巳琢郎さんとともに声高らかに乾杯

10月25日、ふれあい宿舍グリーンテッジで「辰巳琢郎さんとともに2025年新酒・無ろ過を楽しむ夕べ」が開催され、約80人が出席しました。 会場ではジャパンワインチャレンジャー2025でメダルを獲得した澤登ブラックペガールや星、販売を開始したばかりの新酒・無ろ過を含む約20種類のワインが並び、出席者はそれぞれの香りや味の違いを感じながら、ワインを堪能。町と30年来の縁のある俳優の辰巳琢郎さんは「ワインは地元で愛され消費されることが大事。葛巻町はまさに理想」と葛巻町のワインについて熱く語り、会場を沸かせました。

※ジャパンワインチャレンジャー：28回目を迎えるアジア最大規模のワイン審査会の一つ